

Q&A よくある質問を掲載します。

Q 技術職は何名いますか？

A 加古川市の職員1,663名のうち、土木職は113名、建築職は30名、電気職は20名、機械職は8名、化学職は13名です。(平成29年4月1日現在)
全体の職員数からみると少ない職種もありますが、世代や職種を超えて連携・協力して事業を進めています。

Q どんな配属先がありますか？

A 土木職…道路、公園、河川、上下水道、農林、都市計画 関係部門
建築職…営繕、建築・開発指導、都市計画 関係部門
電気職…営繕、上下水道、環境関係部門
機械職…営繕、上下水道、環境関係部門
化学職…上下水道、環境関係部門

Q 人事異動はありますか？

A あります。5年を目途に異動があり、配属・業務内容が変わります。さまざまな職場を経験しながら、幅広い知識や技術を身につけることができます。

Q 民間と迷っています。民間にない仕事の魅力は何ですか？

A 加古川市のまちづくりに長期的な視点で関わることができます。例えば、計画→設計→施工→管理と一連の流れを担当することができ、工事完了後も関わっていくため、使っている市民の声を直接に聞くことができる、やりがいのある仕事です。

加古川市はこんなところ



- 瀬戸内海に面する人口約27万人の都市。
- 一級河川「加古川」の下流に位置し、豊かな自然に囲まれている。
- 大阪や姫路へのアクセスがよく、都市的な利便性を兼ね備えたベッドタウン。
- 子育てしやすいまちづくりを進めている。
- 「ウェルネス都市宣言」を行ない、市民がいきいきと毎日を過ごせるウェルネスライフを積極的に支援している。

Q 残業、休日出勤はありますか？

A あります。担当業務により時期や時間数、出勤日数は異なります。

Q 仕事と育児・介護の両立はできますか？

A 有給休暇（年間20日）以外にも、育児休業・部分休業・介護時間・育児短時間勤務等の制度が整っており、育児や介護の両立支援も充実しています。男性・女性ともに取得することが可能です。

Q 試験情報について教えてください。

A 概ね6月上旬に、市のホームページや広報誌に募集人数や試験日程・内容について掲載しますのでご確認ください。

Q 民間経験者の採用を行っていますか？

A 民間経験者の方も応募できる募集要件となっていますが、毎年募集要件が異なります。詳細は、市のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

民間経験者からのメッセージ

民間で14年間現場監督をしていましたが、異動が多く、毎日が仕事に追われていたため、将来を考えてワークライフバランスを充実させたいという思いと、地域に根づいた仕事がしたいという思いから、市役所職員を目指しました。

今は、土地の開発に係る審査業務を担当しています。自分が関わった仕事が形になって残っていくことにやりがいを感じています。また、市の土木職は、幅広い仕事を経験することができ、まちづくりに携われることもやりがいの一つです。

民間に勤務していた時は、個人で仕事をしている状態でしたが、今は、チームとして仕事をしていることを実感でき、何か問題が発生しても、みんなで知恵を出し合い、チームワークで解決していくため、安心して仕事に取り組んでいます。また、研修も内部研修だけでなく外部研修も充実しており、働く環境も整っているのも、やりがいを持って働くことができる職場です！

開発指導課 土木職 大西 誠（平成29年度採用）



市民の笑顔や喜びを身近に感じながら
私たちと共に「かこがわ」の未来をつくりましょう。



加古川市の職員採用情報のホームページ [加古川市 正規職員 採用](#) 検索

お問合せ 加古川市総務部人事課 TEL:079-427-9139(直通)



技術職 X お辞儀

お辞儀は、挨拶や感謝、敬意を表します。

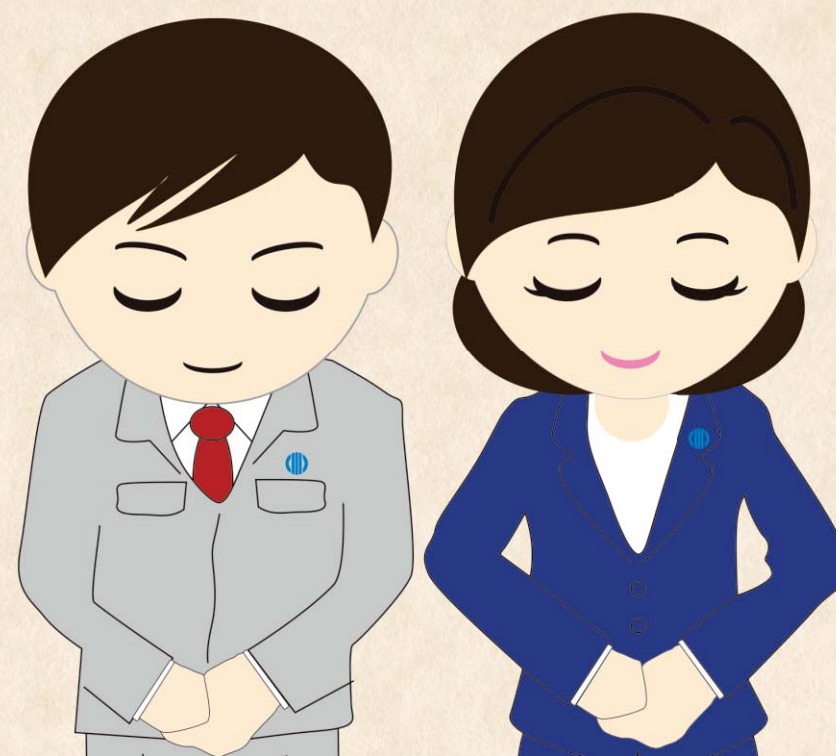
行政の技術職は、お辞儀をする場面が多くあります。

理解を得るとき、連携するとき、協力して事業を進めるとき…

お辞儀の数だけ、生活を豊かにする。

お辞儀を通して、日常をまもり、日常をつくる。

それが私たちの仕事です。



お辞儀で まちをつくり まちをまもる



土木職

「ひと」と「まち」をつくり、
まもる喜び

仕事の内容

市民の生活基盤である道路や公園、河川、上下水道といったインフラを整備するのが主な仕事です。

具体的には、計画立案から始まり、測量、設計、そして工事の施工管理など技術職として専門性を発揮する機会に溢れています。また、つくるだけでなく、維持管理や改築・改修など安全・安心をまもるための継続した業務にも携わります。一方、都市計画や交通政策など、将来のまちづくりを計画する部署もあります。

仕事のやりがい

インフラ整備は民間企業でも経験できますが、地域に根づいたまちづくりだからこそ、仕事の成果を直接感じられる喜びがここにはあります。

測量・設計・工事監理などの業務に部分的に携わるのではなく、事業全体を通して地域の方や多くの関係機関と連携を図りながら一つのことを造り上げていく一体感、完成後に利用者の声が直に伝わってくる達成感、それらを得られる場面が多く存在します。そこには技術者としての専門的な知識はもちろん、調整力や交渉力、決断力を兼ね備える必要があり、個人の成長を実感できることも多くあります。

土木職の仕事は「ものづくり」を通じて自己の成長、そして「ひと」の生活を支える「まちづくり」へとつながる、やりがいのある仕事です。



市道大野西条線道路改良工事の出来高検査 【道路建設課】

建築職

心地よい施設・空間・まちを
目指して

仕事の内容

公共施設の整備・維持管理や法律に基づく審査・許可など、住まい・まちづくりに総合的に関わる仕事です。営繕部門では、幼稚園・小中学校、市民会館や公民館など市民の皆さんが日々利用される公共施設の設計・積算・施工監理や修繕などの維持保全を行っています。建築行政部門では、建築基準法に基づく許可・確認申請の審査・現場検査や防災・耐震化の支援などを行っています。そのほか、都市計画法に基づく開発許可や地域の計画（まちづくり）の部門でも建築職が活躍しています。

仕事のやりがい

営繕部門では、多くの方が利用される公共施設が安全で快適な場所であるよう、適切に整備や維持保全を行っています。また、施設整備に関して、設計から工事完成まで全てに携われるのは市役所の建築職の大きな魅力であり、利用される方から「きれいになった」「ありがとう」という言葉をいただく大きな充実感があります。

建築行政部門や都市計画・まちづくり部門では、市民の皆さんが安全で安心して暮らしていけるまちの形成に向け、建築基準法や都市計画法などの幅広い知識を持ってサポートしています。また、住宅の耐震化や空き家対策、地域のまちづくり活動の支援など、市民の暮らしを支える使命感を強く感じる職場です。



川西こども園建設工事の現場監理 【営繕・住宅課】

電気職

快適空間を
創り出す喜び

仕事の内容

市庁舎、公民館など市民の皆さんがよく利用する施設や、幼稚園・小学校・中学校など子どもたちが通う幅広い施設で、設計や工事監理、維持管理を行っています。中でも、受変電設備や照明、空調設備、情報設備など、建物を使用するうえで欠かすことのできない建築設備を担当しています。

また水道施設や下水道処理施設において、安定した生活基盤を提供するため浄水設備やポンプ設備を制御して動作させる電気設備の整備及び維持管理を行っています。

仕事のやりがい

安心安全を市民の皆さんに送り届ける使命と責任感を持って、業務に携わっています。

専門性を生かして、前向きに取り組んできたことが、一つの形として完成した時に、大きな充実感と達成感を感じます。使用する人が快適でいきいき活躍できる生活空間を提供できるよう空間を創造し、幅広い電気職の知識とコミュニケーション力を持って業務に携わっています。

また、公共建築物・水道施設・下水道施設など、日々の生活を送るうえで欠かすことのできない施設を建設し、維持管理することにより、市民の皆さんが安心して生活できる基盤づくりに貢献できる喜びを実感することができます。



建築設備(受変電設備・照明・給排水設備など)の設計 【営繕・住宅課】

機械職

日常の“あたりまえ”を
まもる仕事

仕事の内容

蛇口をひねれば水が出る。ごみステーションに出したごみがいつの間になくなっていく。水を飲んだり、ごみが処理されてきれいなまちが維持されたり、そんな日常の“あたりまえ”を陰ながら支えているのが機械職の仕事です。

水道水を作るためには、浄水場で処理が必要です。また、水道水を市内に配水するため、大きなポンプで配水池へ圧送します。そんな水道施設の新設及び改修計画立案、設計、施工、維持管理までを行います。

また、ごみステーションから回収した燃やすごみは、クリーンセンターで焼却処理します。ごみを燃やすための焼却炉、燃やした時の排熱を利用するボイラー・タービン設備、排ガスを処理するための排ガス処理設備、そんなプラント設備の運転状況確認や法定点検の段取りも機械職の仕事です。

仕事のやりがい

浄水施設やごみ処理施設だけでなく、下水処理施設や建築設備部門など、機械職が関わる仕事は多岐にわたります。専門分野の力を結集して、関係者と連携・協力しながら、市民の皆さんの日常の“あたりまえ”にお役に立てた時にやりがいを感じます。



ボイラー汽水調の圧力を確認 【クリーンセンター】

化学職

安心できる
暮らしの最前線

仕事の内容

環境部門では、市内の大气・河川などの環境調査や、工場などに対する大气・水質・騒音などの規制を行っています。また、地球温暖化防止のため市民の皆さんなどと協働し、CO2の削減に向けた様々な施策を展開しています。

上下水道部門では、分析機器を用いた水道水の水质検査のほか、浄水場全体の工程管理も行っています。

その他、学校や公民館などでの環境教育、浄水場の見学会も行っています。まちをより良くするため、意識啓発を行うことも化学職の大切な仕事です。

仕事のやりがい

環境部門では法令に基づく工場・事業場の立入検査を行い、法令が守られていない場合や周辺に悪影響がある場合には、厳しく指導することがあります。

また、上下水道部門では市民のライフラインのひとつを担っているため、「安心・安全」が大前提です。化学職の仕事は市民の皆さんの生活に直結しており、問題が発生した場合には、化学の知識・視点、チームワークにより、着実かつ迅速な対応をとっています。責任の重い仕事ですが、仲間と壁を乗り越えることに大きな成長とやりがいを実感できます。また、市民の皆さんとのふれあいの中で良いまちにしたいという想いが共有できたときには、暮らしの“最前線”にいることに誇りを持つことができます。



ガスクロマトグラフ質量分析計による
水道水中の微量物質分析 【施設課】